



ARIN42 レポート

第35回 JPNICオープンポリシーミーティング(2018/11/28)



開催概要

- 日時:2018年10月4日~5日
 - NANOG74(10/1~3)の直後に開催
- 会場:カナダ・バンクーバー
 - Hyatt Regency Vancouver
- 参加登録者数: 132名
 - リモート参加登録:34名
 - 前回ARIN41:96名
 - リモート参加登録:48名



プログラムの構成

Report

- Regional PDP, Policy Implementation and Experience, Internet Number Resource Status, IETF, Caribbean, NRO Activities, Internet Governance, IANA RC
- ARIN Website Redesign, Second Customer Survey, Software Development, IPv4 SWIP Analysis, Transfer
- Policy discussion
- Member Meeting



NANOG74







ARIN42



アドレスポリシーに関する議論

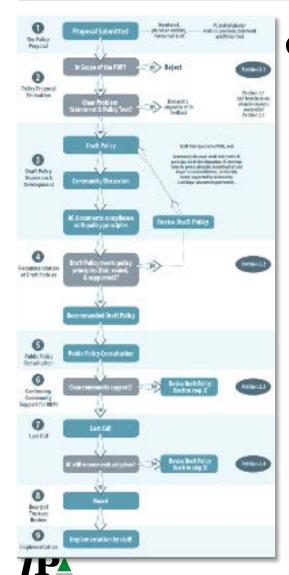
継続議論

- Recommended Draft Policy ARIN-2017-12
 - 再割り当て時の新たな連絡先情報の認証の必要性
- Recommended Draft Policy ARIN-2018-1
 - レジストリ間AS番号移転の許可 コンセンサス
- Recommended Draft Policy ARIN-2018-3
 - 個人ユーザへの割り当てを目的とした再割り振り 要件の廃止
- Recommended Draft Policy ARIN-2018-4
 - 再割り当ての明確化
- Draft Policy ARIN-2018-2 コンセンサスを確認せず
 - ISPの初期割り振りとリナンバリング許可の明確化



ARIN地域のポリシー策定プロセス

https://www.arin.net/policy/pdp.html



- ARIN Policy Development Process
 - 議論はARIN Advisory Council(ARIN AC)が進める
 - オンサイトミーティングでは他の ACからの厳しいコメントも
 - オンサイトミーティング、ML での議論内容を踏まえて、複数 回のACによる検討
 - 検討の結果を元にプロセスを進めるかどうかの判断を行う

WHOIS正確性向上に関する議論①

- Recommended Draft Policy ARIN-2017-12
 - <u>再割り当て時の連絡先情報の認証の必要性</u> https://www.arin.net/policy/proposals/2017_12.html
- 内容
 - 新しい担当者情報の登録を伴う再割り振りまた は再割り当てを行う際、DBに登録予定の連絡 先に、ARINからメールを送信
 - 送信から10日以内に受信者から応答がない場合には、ARINは申請を却下



WHOIS正確性向上に関する議論②

- ARIN41(4月)でコンセンサス
 - 理事による検討の結果、ACに差し戻し(8月)
 - ISP担当者やコミュニティの更なる意見聴取が必要ではないか、との判断
- コメント・議論
 - 情報登録の目的を再確認して更なる検討を!
 - 顧客に確認のメールを送信することについて
 - 顧客にメールを多数送っても大丈夫か?
 - 顧客ではなくISPの情報を登録すべきでは?
 - 既に登録済みの情報を再利用するのはどうか?
 - 担当者間をたらいまわしにされることがなくなる



AS番号移転に関する議論①

- Recommended Draft Policy ARIN-2018-1
 - <u>レジストリ間AS番号移転の許可</u> https://www.arin.net/policy/proposals/2018_1.html

- 内容
 - 双方向の移転ポリシーを実装するRIRとの間での、AS番号移転を許可する
 - ARIN地域においては現在、ARIN契約組織間での AS番号移転は許可

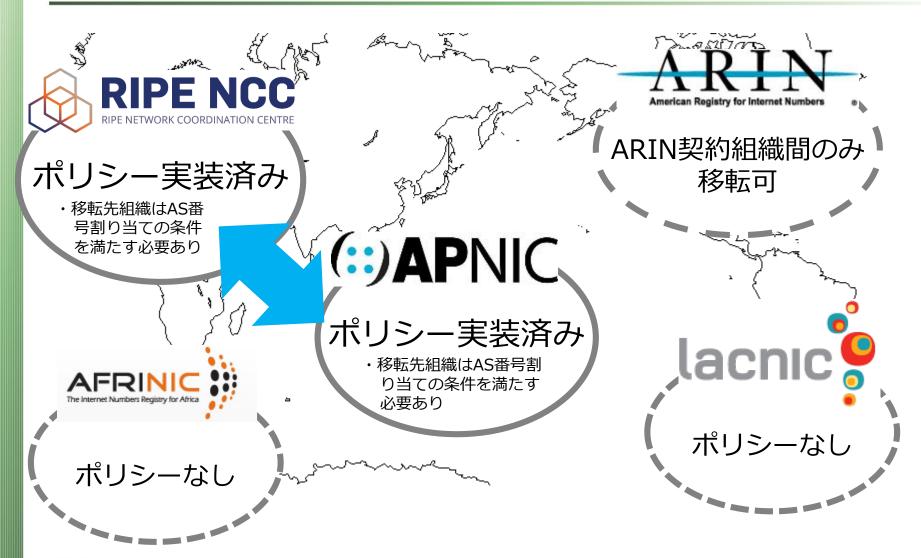


AS番号移転に関する議論②

- コメント・議論
 - AS番号の管理を他のRIRに移転する仕組み
 - テスト環境の構築や、APNICとのテストは実施済
 - 過去にERXの経験があるため不安はない (ERX:Early Registration Transfer Project)
 - 管理元RIRが変更になる場合のRPKIへの影響
 - 各RIRがそれぞれ頂点となる構造から、単一のグローバルトラストアンカーへ移行すれば懸念は払拭



RIR間のAS番号移転への対応状況



現状に合わないポリシーの修正①

- Recommended Draft Policy ARIN-2018-3
 - 個人ユーザーへの割り当てを目的とした再割り振り要件の廃止

https://www.arin.net/policy/proposals/2018_3.html

● 背景

- 一定の条件を満たす場合に、メンバーは個人 ユーザーへの割り当て用に再割り振りを行う
 - 再割り振りのための情報を管理する必要があり、 その管理が複雑に
 - その一方で、登録された情報の重要性が低下



現状に合わないポリシーの修正②

- コメント・議論
 - DB登録のために情報管理を行なっている
 - 割り当て先の管理につながっており、ポリシー改訂 により、モチベーションがなくなってしまう
 - CMTSの導入初期のころに制定されたポリシー
 - 機能が限られており、/24よりも小さなアドレスを 設定することが出来なかった
 - 10軒しか収容しないケースでも/24の割り当てを行い、代わりに情報管理を詳細に行なうことで対応



曖昧な表現の修正①

- Draft Policy ARIN-2018-2
 - <u>ISPの初期割り振りとリナンバリング許可の</u> 明確化

https://www.arin.net/policy/proposals/2018_2.html

● 背景

- 直接IPv4アドレスの分配を受けていない場合 申請のみで/24の初期割り振り
 - /24を超え、/21までの初期割り振りを希望する場合、最大24ヶ月間の割り当て計画を提示
 - 現行の記述では、申請のみで/24を超える初期割り 振りを受けることが可能なように読める



曖昧な表現の修正②

- コメント・議論
 - IPv4アドレス分配の議論よりも、移転を自由 にするための議論を行った方が良い
 - IPv4よりもIPv6の議論をしよう

● ポリシー文書だけを読んで混乱する場合には、 文書を改訂する必要がある

再割り当ての定義の検討①

- Recommended Draft Policy ARIN-2018-4
 - <u>再割り当ての明確化</u> https://www.arin.net/policy/proposals/2018_4.html

● 背景

- ★ットスポットや、ネットワークに一時的に 持ち込まれるデバイス等へのIPアドレス割り 当てについて、特段の考慮はされていない
 - ポリシー制定当時に考慮されていなかったが、当時よりIPv6の利用場面が増加
 - RFC8273が発行(2017/12)され、I/Fやホストへの /64の割り当てが定義されるようになった



再割り当ての定義の検討②

目的

該当の用途が、割り当ての定義「分配を受けた 組織での独占的使用」には該当しないことを明 確化したい

● コメント・議論

- 問題となったケースから解決方法を模索
- 詳細な記述は、曖昧さを失わせる
- 意図はわかるが、文書にどのように記述するかはさらに検討したほうがよい



次回以降のARINミーティング

- ARIN43
 - 日時:2019年4月7日~10日
 - 会場:バルバドス・ブリッジタウン
- ARIN44
 - 日時:2019年10月31日~11月1日
 - NANOG74(10/28~30)の直後に開催
 - 会場:アメリカ・オースティン(テキサス州)
- ARINミーティング Webページ
 - https://www.arin.net/participate/meetings/

参考リンク

- ARIN42 Webページ(動画・資料)
 - https://www.arin.net/vault/participate/meetings/reports/ARIN_42/
- アドレスポリシー提案一覧
 - https://www.arin.net/policy/proposals/policy_proposal_archive.html
- JPNICブログ
 - 分配ポリシーに関する提案ご紹介
 - https://blog.nic.ad.jp/blog/arin42-policy-proposal/
 - ARIN 42ミーティング フォトレポート https://blog.nic.ad.jp/blog/nanog74arin42_photo/
- JPNICメールマガジン
 - ARIN 42ミーティング報告(vol.1641)

